



福岡市立生の松原特別支援学校 学校便り

～明日を拓く～



第4号

令和5年7月4日号

文責 学校長 吉竹 雅人

【7・8月の言葉】

7・8月の私からの言葉は、右の通りです。

終業式までは、きっと暑い日々が続きます。そのような中ですが、屋外での学習活動も実施されます。当然、雷注意報や暑さ指数の情報を得て対策を検討した上で、実施します。水分補給のタイミングを増やすことや、活動時間の短縮等です。

状況によっては、屋内での活動へ切り替えることも選択肢の一つです。

厳しい条件での屋外での活動ですが、「汗がたくさん流れる。つらいなあ。でも、ここを踏ん張ればやり遂げることができそう。よし最後のもうひとがんばり。」この心持ちで頑張ってください。やり切ることを信じています。

また8月は、ご家庭で過ごす時間が長くなります。まだまだ暑い日は続いているはずですが。家庭でできることに何か一つ挑戦し、是非やり遂げて下さい。

7・8月のことば



暑い夏

苦しい時こそ

もう一押し



【中3 修学旅行】

6月7日(水)～9日(金)の2泊3日の日程で、中学部3年生は長崎佐賀方面への修学旅行へ出かけました。私も同行しています。

残念ながら、2日目は、朝から雨。雨のハウステンボスでの活動は少しづつ少なかったようです。昼食後は、グループ別の活動を中止し、クラスごとのお買い物の時間へと切り替えました。その後は、早めにホテルに戻りゆっくり過ごすことを選択したクラスもありました。

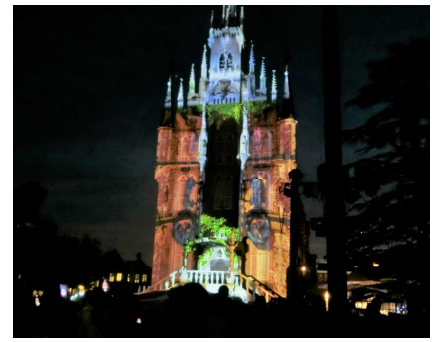
今回の旅行の一番大きな目的は、「日頃から体験することの少ない様々な直接体験により、学校生活の楽しい思い出の一つとする。」でした。旅行中に生徒や職員の方の笑顔を見ることができて、うれしく思います。一生の思い出となることを信じています。



宿泊したホテルオークラ



3階建てメリーゴーランド



プロジェクションマッピング

【高等部 現場実習】

6月12日(月)～23日(金)の2週間、現場実習に取り組みました。外部の事業所や企業での実習に取り組んだ2・3年生もいます。それ以外の生徒たちは校内の作業課を事業所と設定し、毎日一日中作業に取り組んでいます。

「働くことの意義や学校生活と卒業後の社会生活の違いを学び、自分の将来の生活の展望や関心をもつこと」が、今回の実習の目的の一つです。後期には、4週間の現場実習期間が設定されています。今回まだ目的を達成できていない生徒のみなさんは、次の期間で挑戦して下さい。

全体目標

- ・遅刻や欠勤をしない。
- ・あいさつや返事をきちんとする。
- ・作業を最後までがんばる。

【中学部・高等部 西陵高校との交流】

6月26日(月)には中学部に、そして29日(木)には高等部に、近隣にあります西陵高校さんから高校生が、本校を訪問しました。

両日ともに70名程度がやってきました。全体に対して注意事項を確認した後に、各学部の学級へと別れます。各学級で「七夕交流」として、各々の学校紹介を行った後に自己紹介へと進めます。そして、一緒に七夕飾りを作成し、飾りつけまで行いました。

私がかつて勤務していた30年以上前にも、西陵高校さんとは交流を実施していました。本当に、長い歴史があります。コロナ禍で中断していたものが、復活できました。今後の後輩たちにもつなげていくことができる、有意義な時間となりました。来年度以降に、同じ生徒達同士が再会する機会もあるかもしれません。



短冊をつける前の笹

【小学部 児童の作品】

右の写真は、小学部の児童作品です。個人が一つひとつの花火を描いてます。すごく色がきれいだったことと、夏の風物詩だなあと感じましたので、ここで紹介します。

